

マイクロものづくり研究会

第3回

MEMS技術の産業応用

日時

平成24年10月2日(火) 15:00~17:30

会場

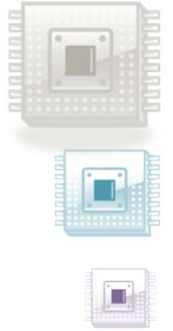
SBI大学院大学会議室 横浜市中区太田町2-23 横浜メディア・ビジネスセンター6階

参加費

2,000円/1名 (当日会場にて申し受けます)

本研究会は、エレクトロニクス、バイオ、流体、光学などの分野で応用が期待されるMEMSに関して最新情報を提供すると共に、事業化の方向について意見交換を行います。

MEMS(マイクロものづくり)分野に関心のある方の積極的なご参加をお待ちしております。



講演1 15:00~16:00

横浜国立大学 大学院工学研究院知的構造の創生部門 教授 河野 隆二氏 未来情報通信医療社会基盤センター長

先端情報通信技術(ICT)に基づく医療機器・BANの研究開発、標準化、治験と自動車・エネルギー・防災へのビジネス展開

スマートホンに続く先端ICTの巨大グローバル市場/先端ICTに基づく医療・ライフサイエンスイノベーション / 医療システムの国際標準化・法定認証(治験) デPENDABLE社会を支えるレギュラトリ科学とリスク管理



【講演概要】スマートホンベースやWiFiに代表される先端情報通信技術( ICT)は新たなビジネスチャンスを生み出し、学術的なイノベーションを創生します。危機や災害などに対して将来にわたり頼りになる医療や防災、エネルギー、交通などのDEPENDABLE社会システム・インフラは、どのように構築し経済的にも継続可能であるのか。先端ICTを用いたマイクロ体内センサロボットからその実用化に必要な治験、レギュラトリ科学について学術と産業の視点から解説する。

講演2 16:20~17:20

芝浦工業大学 工学部電気工学科 准教授 長谷川 忠大氏

マイクロ化学デバイスとその応用

マイクロ分注システム / 多分岐マイクロ切換バルブチップ 血球分離フィルタチップ / アレルゲン検査デバイス



【講演概要】 μ-TASは急速に発展したが、分析場にマイクロ流路を利用しているのみで装置全体としては大きく、かつ試料の前処理や注入などに煩雑な工程が必要で幅広く普及しない原因の1つである。そこで、チップ内で微量な試料の前処理や正確な計量・注入ができるマイクロ化学デバイス、さらに、これらを適用したアレルゲン検査デバイスを開発している。

第3回マイクロものづくり研究会(10/2)参加申込書

氏名(ふりがな) \_\_\_\_\_ 所属・役職名 \_\_\_\_\_
企業名 \_\_\_\_\_ 事業内容 \_\_\_\_\_
所在地〒 \_\_\_\_\_
TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_ E-Mail \_\_\_\_\_

横浜型地域貢献企業(口にチェックをつけてください) ※認定企業は参加費が半額となります

お問合せ先 経営支援部 技術支援課 TEL:045-225-3733 FAX:045-225-3738
http://www.idec.or.jp/renkei 主催 (公財)横浜企業経営支援財団

